

史跡小峰城跡整備基本計画書（第1次 第Ⅱ期）に関するパブリックコメントの実施結果

■実施期間

令和8年3月4日（水）から令和8年3月17日（火）

■意見提出方法

持参、郵送、電子メール、FAX

■提出数、意見数

提出数2通、意見数17件

※お寄せいただいたご意見につきましては、なるべく原文のまま掲載するようにしていますが、個人が特定される表現や具体的な名称については一部省略している部分がございます。

また、意見を掲載する都合上、文脈をつなげる目的として文字を補足・削除している箇所がございます。

No.	該当箇所	提出された意見の内容	意見に対する市の考え方
1	78 ページ (5) 活用と情報発信	市民や多くの人々に見てもらいたい整備であれば、もっとPRに力を入れるべきである。 YouTube、SNS、TVにスポットを入れるなど、遣り方はあるはずです。	78 ページ「3.デジタルを活用した情報発信」において、ウェブサイトやSNSを活用して情報発信を行うと明記しております。情報発信の方法については効果的な方法を検討してまいります。

2		<p>三重櫓についての記載が見当たらなかったのですが。定信公が「白河城三重櫓絵図」を残され、それに基づいて普通に、日本で最初に再築城されたお城です。</p> <p>櫓の内部に「絵図」の写真と建築の状況写真を順を追って展示して、櫓の日本最初の再建を知らしめては如何でしょうか。</p>	<p>三重櫓については、平成 26 年（2014）年策定の『史跡小峰城跡保存管理計画』及び平成 27 年（2015）年策定の『史跡小峰城跡整備基本計画』にて記載しております。</p> <p>三重櫓内部の解説の更新（絵図・建築の状況写真）につきましては、ご意見を参考に検討してまいります。</p>
3	66 ページ 園路整備	<p>バリアフリーについて、最近は高齢者が多く、車椅子で来る人もおられます。この人達にはスロープが必要です。清水門から前御門までスロープの設置が必要です。</p> <p>トイレの項にオストメイトとありますが、これは障害者トイレで対応できます。</p>	<p>バリアフリーにつきましては、史跡の価値を損なわないように、段差や勾配の改善を必要最小限に行ってまいります。</p>
4	76 ページ 人材育成	<p>人材育成の項にボランティアの養成とあります。すでにツーリズム白河というグループが活動しております。これの活用についての記述はありません。</p>	<p>76 ページ (1) ガイド育成の項の「市民ガイド」にはツーリズム白河も含まれております。</p>
5	34 ページ C 地区	<p>小峰城の外堀の水堀復元（現在、埋立地の場所）</p>	<p>71 ページ「将来的に実施を見通す整備（10 年以降）」に明記しております。整備事業の優先度については、今後、実現性や事業効果等を考慮し、検討してまいります。</p>
6	74 ページ 外縁動線	<p>外堀のまわり（田町～追廻～会津町四阿まで）車道幅 4 m～5 m、歩道幅 1.8m で整備する。搦手土橋から会津町四阿までは車道より下段に歩道を造る（人が安全に通行できる）。</p>	<p>外堀の整備方針と合わせて、検討してまいります。</p> <p>（71 ページ「将来的に実施を見通す整備（10 年以降）」）</p>

7	36 ページ A-3 地区	搦手の土橋（追廻から搦手門跡入口前）を往時のまま復元する。木製に朱色の欄干の橋で、親柱に擬宝珠をのせる。土橋から搦手門跡を通り、小峰城に北側から入城できる（市民の生活道路でもある）。	ご意見を参考に検討してまいりますが、復元整備が基本であるため、資料等により確認できない装飾については、難しいものと考えております。
8	36 ページ A-3 地区	搦手門跡、花鳥門跡（和党門跡）、和党曲輪の石垣を往時のように修理復元する。散策できる歩道を整備する。	搦手門跡につきましては、71 ページ「将来的に実施を見通す整備（10 年以降）」に明記しております。花鳥門跡（和党門跡）、和党曲輪の石垣の復元につきましては、調査研究を進め、検討してまいります。 遊歩道の整備につきましては、和党曲輪（A-3 地区）全体を含めて、検討してまいります。
9	79 ページ 図 6-4-2	矢之門跡から搦手門跡や和党曲輪に散策移動する時、梅園の北側に和風外観のトイレを設置する。 将来散策コースが和党曲輪まで広がる。	史跡指定地内に新たなトイレの設置につきましては、計画しておりません。 将来的には、未公開エリアである和党曲輪（A-3 地区）を公開してまいりたいと考えております。
10	37 ページ B 地区	二之丸南東側、内堀遺構表示の場所を二之丸茶屋西側脇の空堀と同じように掘削して、空堀の遺構表示とする。	B 地区においては、都市公園としての利用もあるエリアであるため、史跡及び都市公園として適切な整備を行いたいと考えております。
11	21 ページ 史跡の現況	会津門跡、道場門跡、元太鼓門跡の石垣を往時の大きさ、高さに復元する。	会津門跡・元太鼓門跡につきましては、史跡及び都市公園として適切な整備を行いたいと考えております。 道場門跡につきましては、指定地外であるため、本計画では対象としておりませんが、現在、調査で確認された石垣の露出展示を行っており、維持していきたいと考えております。

12	18 ページ 史跡指定範囲 と縄張り図	大手門跡、田町門跡、横町門跡に案内板の設置。	指定地外であるため、本計画では対象としておりません。
13	36 ページ A-3 地区	和党曲輪に往時の白河藩校「立教館」を木造復元する。建物内部は観光客にも見学できるようにする（会津武家屋敷のように）。 地元青少年育成のため「武道」にて心身鍛錬をしたい。	「立教館」につきましては、白河市会津町に所在し、現在、的場の土塁の一部が残っております（市史跡）。 原則、原位置に復元することが、これまでの白河市の復元の方針であるため（三重櫓・前御門・清水門）、和党曲輪内に復元することは計画しておりません。
14	35 ページ A-1 地区	本丸跡の往時からある井戸を発掘調査をして、元の場所に遺構表示をする。	現存する井戸につきましては、現状の状態で保存してまいります。 本丸跡にあるその他の遺構につきましては、将来的には発掘調査を実施し、整備方法について検討してまいります。
15	74 ページ	藤門跡から二之丸に進入する正式な入口を整備する（江戸時代と同じくする）。	B 地区においては、都市公園としての利用もあるエリアであるため、史跡及び都市公園として適切な整備を行いたいと考えております。
16	85 ページ	三重櫓、前御門、清水門のライトアップはもとより、石垣のライトアップを工夫して、東・西・南・北方向からも城全体が浮かび上がるように設置する。	本計画においては明記しておりませんが、関連する計画である「白河市光のマスタープラン」(4 ページ表 1-3-1) において、ライトアップの方針を明記しております。 「白河市光のマスタープラン」を基に史跡に合ったライトアップを検討してまいります。

17	87 ページ 図 6-6-2	清水門完成後に小峰城推奨観光コースを明示する。各観光コースには矢印、分かりやすい案内板を設置する。	ご意見を参考に関係部局と連携して、検討してまいります。
----	-------------------	---	-----------------------------